



自民党筆頭副幹事長
神奈川県13選挙区
支部支部長

衆議院議員 **甘利 明**

国会レポート

総 覧

昨日(4/2)は朝から山崎前副総裁訪中のニュースが全国を駆け巡りました。中国の大連で北朝鮮関係者と密会し、拉致問題の打開を図ろうとした件です。これに関し、2日ほど前から度々その可能性を私に打診する新聞社が何社かありました。

当日、山崎氏は講演のため関西出張ということになっており、党内はもとより派内ですら誰一人実際の行動を把握している者はいませんでした。この日、昼には山崎派の総会があり、その席に会長たる山崎氏が出席をしていなかったものですから、次第に騒ぎは大きくなり、その夜は10分おきに私の携帯にマスコミ各社から問い合わせが来る状態でした。

とうとう夜9時前には国会対策筆頭副委員長の川崎二郎氏から私に「山崎さんは民間人であるからともかく、平沢が同行しているとしたら政府高官が大臣や国対(党国会対策委員会)を欺き(聖路加病院に検査入院すると届け出ていました)、国会開会中に無断海外出張したということになるから責任問題になるよ」と警告が入りました。

その時点で私はまだ事実関係を把握していなかったものですから「二人とも国内にいるとしか聞いていないので…」としか返答しようがありませんでした。マスコミの調査力は大したもの、北京で誰が出迎えたとか、現在大連のホテルに入っているなどの情報を連絡して来る記者もいました。

山崎氏の今回の行動の思いは、膠着してしまっている日朝交渉を何とか揺り動かして再開させ、解決に向け小泉総理を助けたいとの一心であったと推測します。平沢氏ともども情報を分析し行動に移ったのでしょう。二元外交と言われぬよう秘密裏に会談をし、動き出したら政府間交渉につなげ一元化を図る。そのためにも内密に事を進める必要があったのかと思います。

しかし訪中が世間の広く知るところとなったため、こちらの騒ぎの状況と、それを前提とした対処をしてもらうよう、大連の山崎氏に連絡しました。その際、「成果は出そうですか？」との問いに、「出ると思う」との返答がありました。

政治は結果が全てですから、やれ二元外交だ、売名行為だと非難されている状況も、結果としていい方向に動き出せばきっと拍手に変わるはずです。

今週の出来事(ゴルゴ13 その2)

著作権法の改正を今国会で図るために、コミック漫画作家の方々を総理官邸に案内しました。『あしたのジョー』のちばてつやさん、『忍者ハットリくん』の藤子不二夫さん、『取締役島耕作』の弘兼憲史さん、女性作家の里中満智子さん、そして『ゴルゴ13』のさいとうたかをさんです。

4階の特別応接室で総理を待っている間、「ゴルゴ13ならこの部屋を狙撃する際にどこから狙うとか、すぐ計算されるんでしょね」と聞いたところ、

「いやあ、まあ」と苦笑するさいとう氏を尻目に、同行した林芳正議員が、

「決まっていますよ。向こうのビル最上階からこのブラインドの合間を縫って狙って撃ってきますよ」と代わりに解説。

「ところで、弘兼さんも官邸は初めてですか？」

「ええ、初めて来ました」

「いずれ官邸のシーンも漫画に登場するかもしれませんね」

「ええ、部屋の構図は頭の中にしっかり叩き込みましたから」

いろいろな話題を提供した訪問でした。

